

鉄道3線が交差する「新鎌ヶ谷駅」 東京都心へもダイレクトに

平成11年11月、東武野田線に「新鎌ヶ谷駅」が開設され、新京成線ならびに北総・公団線の3線の総合乗り換え駅が誕生しました。これによって、各鉄道間の乗り換えとともに、松戸、柏、船橋、津田沼をはじめ、東京都心との直結も実現しました。また、北総・公団線の成田への延伸、各鉄道の立体化や複線化などが実現すると、地区の交通環境はさらに向上していきます。



柏へ 16分
新鎌ヶ谷駅から東武野田線利用

主要幹線道路の拡幅や整備により 地区の利便性が向上

「新鎌ヶ谷地区」の土地区画整理事業は、人と人が出会い、集い、活力あふれる都市の創造を目標としたまちづくりを行っています。地区を南北に通過する主要幹線道路「船橋・我孫子線」の拡幅、新鎌ヶ谷駅の南北に交通広場の整備、都市計画道路6路線の整備を行い、より広域の道路網とアクセスし、行動半径が大きく広がるまちづくりを目指しています。また、新京成線の連続立体交差事業が完成すると渋滞の大幅な緩和が期待できます。



船橋へ 13分
新鎌ヶ谷駅から東武野田線利用



津田沼へ 19分
新鎌ヶ谷駅から新京成線利用



成田空港へ 63分
新鎌ヶ谷駅から新京成線、
京成津田沼から京成線利用

